

## 定数削減 民主相次ぎ単独提出や「採決」発言 4・19 院内集会 & 議員要請の成功を

輿石民主党幹事長は4月9日の記者会見で、衆議院の定数削減と1票の格差是正について、「この国会がおわってもまだ結論が出ないという無責任なことにはできない」「野党はいまだ答えを持ってこない。民主党がさぼっていて前に進まないわけではない(与野党協議会が)ぜんぜん結論を出してもらえない状況になれば、政権与党として判断しなければならない時期もくるだろう」などと、民主党単独で法案の提出も辞さない考えを示しています。

この問題では、城島光力民主党国対委員長も「4月中に一定の結論をだすべきだ」「(野党と合意できない場合は)独自の案を採決したい」などと語っています(7日、横浜での記者会見)。

衆院選挙制度に関する与野党協議会座長の樽床伸二民主党幹事長代行も6日、消費税税率引き上げ関連法案の審議入りまでに「結論を出したい」と語っています。

### 内閣府「社会意識に関する世論調査」

#### —81.9%が「政治に民意が反映されていない」

内閣府がほぼ毎年おこなっている「社会意識に関する世論調査」の最新の調査(2012年1月)では、「国の政策へ民意が反映されている」とするものは15.5%にすぎず、「反映されていない」とするものは81.9%にも達しています。1990年以降の調査のなかで、15.5%は4番目の低さであり、「反映されていない」81.9%は最高となっています。

## 「4・19 院内集会 & 議員要請」を盛り上げ、 `齊し、`すかし、をはねかえし、国会内外の連 携で民意反映の選挙制度の抜本改革実現を！

### 4・19 院内集会 & 議員要請

【別紙に案内チラシ】

☆日時・会場

4月19日(木)午後1時～ 衆議院第1議員会館1階・多目的ホール  
(12時40分から第1議員会館玄関で入館タグを渡します。)

## ☆国会情勢報告

穀田恵二日本共産党国対委員長

## ☆各分野からの発言

住江憲勇保団連（全国保険医団体連合会）会長

東海林智新聞労連委員長（MIC・日本マスコミ文化情報労組会議を代表して）

ほか

## ☆政党・議員要請

今回の要請は、全議員を対象にするとともに、この課題でキーパーソンとなっている各党、協議会メンバーなどにも面会を取り付け、働きかける予定

## ☆呼びかけ

11 団体（連絡先 憲法会議TEL03-3261-9007 fax03-3261-5453）

★前回院内集会（3月7日）は会場が狭くご迷惑をおかけしました。今回の会場である「多目的ホール」は定席 198 席です。多数のご参加をお待ちしています。

# 河野洋平元自民党総裁が小選挙区制導入の「不明わびる」 —中選挙区制議連

衆議院選挙制度改革を目指す議員連盟（略称・中選挙区制議連、会長＝加藤紘一自民党元幹事長・渡部恒民民主党最高顧問）は 4 月 5 日、小選挙区導入当時、自民党総裁であった河野洋平氏を招き勉強会を開催しました。

この中で河野氏は、小選挙区制の導入過程を振り返り「こころざしと違った。不明をわびる」「劣化しつつある政治状況を変えるため、いまバッジをつけている方がたの責任で選挙制度を変える仕事をやってもらわないと困る。直ちに行動していただきたい」「（選挙制度は）できるだけ正しく民意が反映され、有権者が納得できる制度にしたほうがいい」「1 票の価値は同じでないといけない。（1 票の格差が）1 対 2 にならないようにしようという程度の（民主・自民が唱える 0 増 5 減案くらいの）ことで、威張れるほどのことでもない」などと語りました。

同議員連盟は、2 月に総会を開いた後も入会者が増え、現在 200 人を超えたといわれています。

## 憲法会議

# 北朝鮮「ロケット」発射計画問題で談話発表

憲法会議は 10 日、「北朝鮮は『ロケット』発射計画を中止せよ 日本政府は憲法 9 条にもとづく外交努力を尽くせ」と題する平井正事務局長の談話を発表しました。【別紙に全文】